

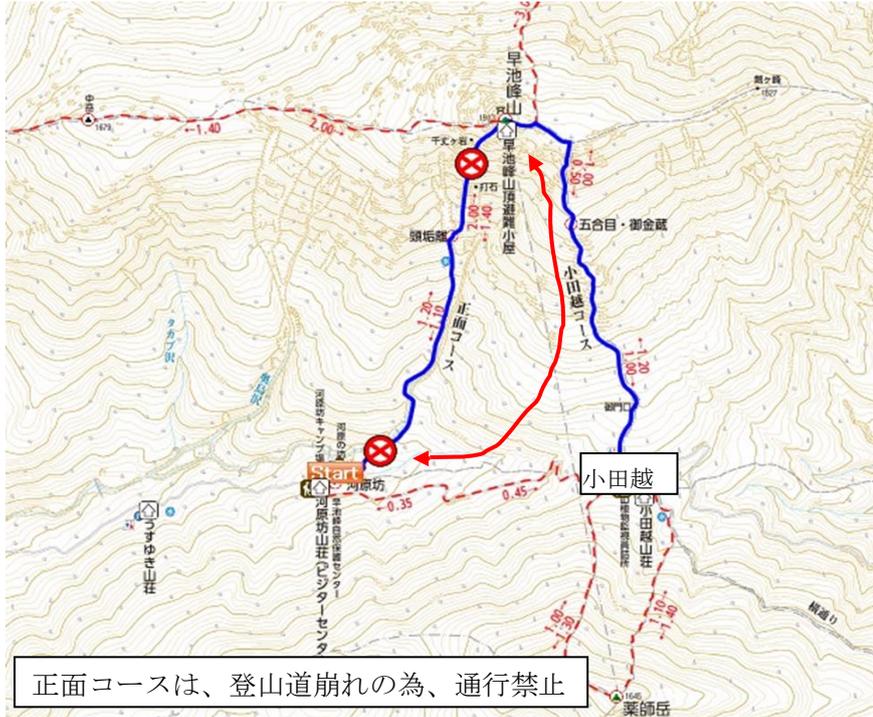
# ①早池峰山登山報告 10/8(日) 快晴

■ルート；河原坊→(小田越コース)→早池峰山(ピストン)

メンバー；津田廣一・利栄子

<コースタイム>

- 4:00 起床 5:10 うすゆき山荘発
- 5:25 河原坊P着
- 5:40 河原坊発→6:20 小田越→
- 7:25 五合目1本→8:40 早池峰山頂
- 9:10 山頂発→9:50 五合目1本→
- 10:55 小田越→11:25 河原坊着



7年前に悪天候で登れず断念した山、今度こそは登りたいと思ってやってきた。前に来た時と同様、小屋は貸し切りで快適だ。目覚めると、昨夜の雨も止んで星も出ている。“ヤッター”と、内心笑みつつ、朝食の雑炊を食べる。1hで小屋の片づけもし、薄明るくなった頃、小屋を出発。すぐに河原坊の駐車場に到着。直登の正面コースは、通行禁止の為、小田越コースのピストンだ。歩き始めは、紅葉の林道を楽しみながらポレポレペースで進む。歩き出しは、



少し寒く感じたが、徐々に身体も温かくなってきて上着を脱ぐ。妻も調子が良さそうで、コースタイム通りに小田越に到着。疲れも感じないので、休憩なしで登山道へ入る。傾斜が徐々に増してくるが、快調だ。高度を稼いで、振り返ると見事な雲海が見える。五合目まで登った所で1本。天気もいいし、気持ちのいい山行だ。岩場に、残りもののような花が咲いていた。いよいよ、唯一の難所の鎖場・梯子に到着。ストックをしまい、「ゆっくり、3点確保で！」と、妻に声をかけて登りだす。妻も、



問題なく、登って来る。梯子を抜け、少し歩くと山頂が見えた。握手を交わして、360度のパノラマを楽しむ。これから登る予定の鳥海や岩手山も見えて感動ものだ。30分程、頂上でゆっくりして下山開始。降りも快調で、梯子・鎖場を過ぎて五合目で1本取って、駐車場へ。林道途中で、見事な紅葉の写真を撮って午前中に、無事下山。素晴らしい1日を満喫できた。



問題なく、登って来る。梯子を抜け、少し歩くと山頂が見えた。握手を交わして、360度のパノラマを楽しむ。これから登る予定の鳥海や岩手山も見えて感動ものだ。30分程、頂上でゆっくりして下山開始。降りも快調で、梯子・鎖場を過ぎて五合目で1本取って、駐車場へ。林道途中で、見事な紅葉の写真を撮って午前中に、無事下山。素晴らしい1日を満喫できた。



## ②秋田駒ヶ岳登山報告 10/9 (月) 曇り

■ルート；八合目→阿弥陀池→男岳&男女岳（ピストン）→横岳→焼森→八合目

メンバー；津田廣一・利栄子

<コースタイム>

5:00 起床 6:31 アルパこまくさ発  
7:00 八合目着（登山口）  
7:05 八合目発→7:35 展望台→  
8:05 阿弥陀池→8:25 男岳→  
（阿弥陀池北側）→9:05 男女岳→  
9:25 阿弥陀池避難小屋1本(15分)→  
9:50 横岳→10:00 焼森→  
10:35 八合目（下山）



昨夜、アルパこまくさの駐車場で車中泊。予定通り5時起床、軽めの朝食を取り、登山靴も履いて6時半のバスに乗り込む。曇ってはいるが、晴れてくるだろうと予測して・・・八合目に7時到着、バスから降りた人達は、



ほとんどがすぐさま登山道へ入っていく。一段落後、準備をして、出発。30分程歩くと展望台に着くも、厚い雲が覆いかぶっている。歩き出して1h程で阿弥陀池の一端に到着。まずは男岳を目指すことにする。今までと違い、結構な急登だ。横岳への分岐も過ぎると風も強い。



強風に耐えて、登っていくが、時々、体が風で揺らぐ。ガスって周りの景色が見えない中、時折、風がガスを払ってムーミン谷が、グリーンの綺麗な姿を見せる。道が折れてからは風も弱くなり、少し行くと男岳頂上だ。誰もおらず、頂上を独占するも、何も見えない。



ガスが晴れるのを少し待つ。登って来られた地元の方とその友人のパーティに写真を撮ってもらい、話をする。この頂上で、こんなに人が少ないのは初めてとの事。人気の山なんだと思う。男岳の下りで、幸運にもサッとガスが晴れて



ムーミン谷を写真に捉える事が出来た。阿弥陀池に戻り、北側の木道を秋田駒最高峰の男女岳の方へ向かう。分岐から、随分と長く階段が続く。やっと、頂上へ着くも、何も見えず寒い。写真だけ撮って、すぐに下りる。とにかく寒いので、阿弥陀池の避難小屋の中へ入って1本。今日初めての行動食を食べる。小屋の中で、「今日はもう降りる」と言う方達が多いが、身体も温まり、横岳を目指す。10



分程で横岳、更に焼森へ。天候の回復は絶望的で、湯森・笹森山は中止し、八合目へ下山。乳頭温泉休暇村へ。

### ③月山登山報告 10/12 (木) 曇り後雨

■ルート；月山リフト上駅→牛首→月山（ピストン）



メンバー；津田廣一・利栄子

<コースタイム>

- 6：00 起床 7：00 道の駅にしかわ発
- 8：00 姥沢 P 着
- 8：25 リフト～8：40 リフト上駅
- 8：50 リフト上駅発→9：30 1本→
- 9：45 牛首→10：15 1本→
- 10：45 月山山頂（5分）→
- 12：00 リフト上駅（下山）



天気が悪さから 2 日間、観光へ変更した。予報では、頂上付近で 20m 近い風だが、曇りとの事。行ける所まで行くか？と、覚悟を決める。コースは月山リフトを使つての最短コースへ変更。リフトの運行時間から、6 時起床。目覚めると、下は晴れ間がのぞくが、山の方はぶ厚い曇り空に、不思議にも虹がかかっている。8 時に駐車場に着き、更衣室のある建物内で登山準備。勿



論、上下のカップも羽織る。リフト乗り場まで紅葉を見ながら車道を登る。乗り場で上の状況を訊くと、「風が強いので、低体温症に注意して下さい」との事。リフトを降り、風も弱いので登りでの汗を防ぐ為、カップの下のだウンを脱いで出発。すぐに姥が岳への分岐に着く。細い方の右手の道を辿る。ゆったりとした登りの木道を歩くが、ガスで草紅葉しか見えない。“晴れてたら”と思うも、無い物ねだりしても仕方ない。アップダウンはあるものの、ほとんど水平移動で、暑くも寒くもない。姥沢への分岐も過ぎて広がった所で 1 本、バナナを頬張る。傾斜が急になってきて、やがて牛首に着く。疲れも感じないので、そのまま進む。紅葉したチングルマや、ナナカマドが慰めてくれる。



傾斜がさらに急になり、風も強くなって来る。牛首を過ぎて 30 分位、風が遮られた所で 1 本。風が強くなる前にと、お握



りを食べ、カップの下へダウンを着こむ。休憩した所を過ぎるや、風の勢いがすごい。身体ごと持っていかれそうな感じだ。20m はないだろうが、15m ぐらいは吹いていそうだ。やがて、雨も降りだし、広々したところで、風がビュービューとすごい。やがて、左に道が折れ、小屋も過ぎてすぐに頂上の月山神社に到着した。神社の周りが石垣で囲まれているので、風は弱まり助かる。頂上は貸し切りだが寒い。何も見えない。写真だけ撮って、早々に下山。神社を出るや、猛烈な風が前進を阻む。強風の中、広々した所で写真を撮っているカップルを見つけ、「頂上は少し先だよ」と、教える。強風と雨の急斜面を大急ぎで降りていると、団体のパーティが登って来た。言葉を交わして、先を急ぐ。休憩する事もなく、一気に下山。リフトの下駅の食堂で、名物の芋煮そばとうどんで生還だ。

